

浜松市楽器博物館 企画展コンサートⅡ

今宵、ピアノトリオ

出演:藤森潤一 星合厚 鈴木辰美 鈴木麻美
2013. 8. 22(木) 7:00 p.m. 楽器博物館企画展示室

— プログラム —

Stars Fell on Alabama: Frank Perkins / Mitchell Parish *

Song for My Father: Horace Silver *

Summertime: George Gershwin / DuBose Heyward

Fly Me to the Moon: Bart Howard

When Sunny Gets Blue: Jack Segal / Marvin Fisher

Seven Steps to Heaven: Victor Feldman, Miles Davis / Jon Hendricks

Mack the Knife: Kurt Weill *

Unforgettable: Irving Gordon *

Foo Jee: Jazz Dialogue original

星影の小径: 利根一郎 / 矢野亮 ~ Corcovado: Antonio Carlos Jobim / Gene Lees(英語詞)

Bye Bye Blackbird: Ray Henderson / Mort Dixon

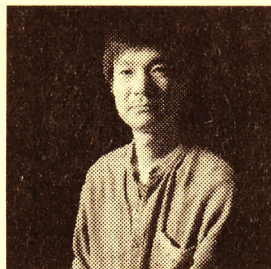
You'd be So Nice to Come Home to: Cole Porter

* はピアノトリオのみ



藤森潤一(ピアノ)

クラシックピアノを3歳の頃から習い始め、大学在学中にジャズピアニスト故・本田竹広に師事。同時期にブラジル音楽を吉田和雄、ニューミュージックを南佳孝、フュージョンを廣木光一らとの演奏を通じ音楽の幅を広げ、アレンジ、作曲なども行なう。現在は浜松を中心に創作活動を行っており、自己のピアノトリオFuzino Re Trioのほか、数々のユニット、セッションで活動中。



星合厚(ドラムス)

小学1年より音楽教室専門コースに入るが、ピアノのテクニックと作曲に行き詰まりを感じて3年生で中退。その頃から電子工作に興味を持ち始め、中学3年でプログレッシブ・ロックに目覚め、高校1年よりドラムを始める。大学では軽音楽部に入りジャズを始める。卒業後は大阪で電子楽器メーカーに就職し、夜はライブハウスに出没する生活をしながらドラムを続ける。2001年、浜松に転勤となり現在に至る。



鈴木辰美(ベース)

1956年浜松に生まれる。その後、赤ちゃんコンクールで見事入賞を果たす。以後その健康な体と幼児体型を維持している。二十歳の頃からジャズベースを始める。ビッグバンドや様々な形態のコンボグループで研鑽を積む。また、地元オーケストラに参加し、活動の場を広げている。



鈴木麻美(ボーカル)

浜松市出身。美山夏蓉子氏に師事。高校時代よりロックバンドで歌い始め、その後ポップス・ソウル・R&Bなどのバンドを経て1999年よりジャズ歌手として活動。佐藤允彦、Theo Bleckman、Shiela Jordanらのワークショップに参加。近年は大石学(P)加藤真一(Bs)廣木光一(Gt)など、第一線のプロミュージシャンとの共演を重ねる。Jazz Dialogueの(まか)Pudding a la Mode, TAMA3 など多彩なユニットで活動。